

衣類乾燥除湿機

型番 **ANG-CD-A2 (W)**

家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

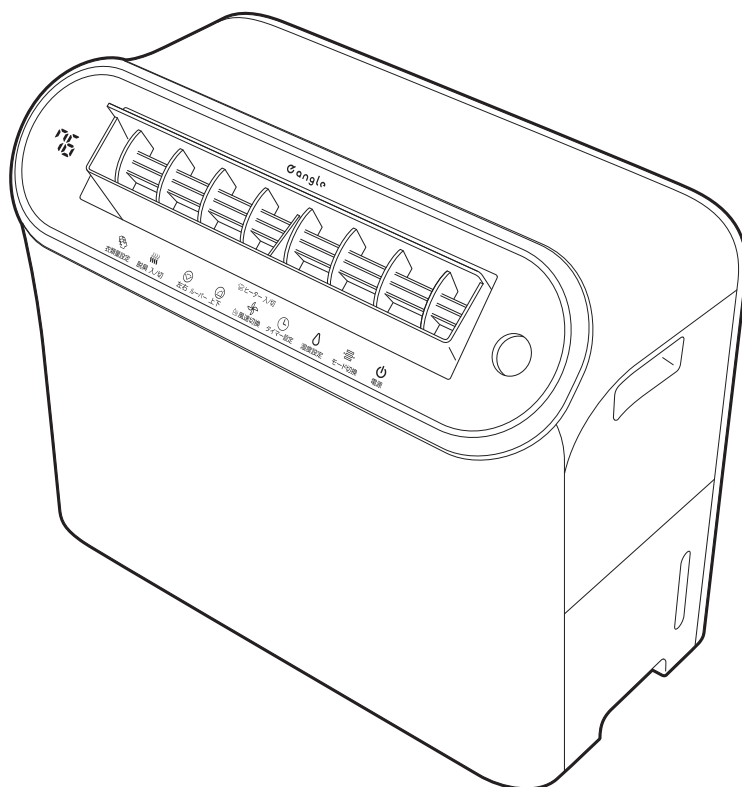
取扱説明書

(保証書別途添付)

このたびは、衣類乾燥除湿機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく
ご使用ください。

なお、保証書は別途添付されています。お読みになら
れた後も、保証書とともにお使いになる方がいつでも
見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1
知っておいていただきたいこと	4
各部のなまえ	5
使いかた	7
排水のしかた	9
お手入れのしかた	11

保管のしかた・廃棄について	13
故障かな?と思ったら	14
こんな表示が出たら	16
仕様	17
修理サービスについて	18
ご相談窓口・修理窓口のご案内	19

安全上のご注意

- * ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつでも見ることができるところに必ず保管してください。

⚠ 警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体の吹き出し口や吸気口などから、内部に指や金属物などの異物を入れない

事故や故障の原因となります。お子さまのいるご家庭では、ご注意ください。

傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない

感電・ショート・発火の原因となります。



表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする
電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

衣類乾燥と除湿以外の用途には使用しない
火災や機器が異常を起こす原因となります。

運転の停止を、電源プラグを抜いてしない
火災や感電の原因となります。

発熱器具の近くに置かない

樹脂部が溶け、引火する原因となります。

電源コードをコードフックに巻きつけた状態で使用しない

電源コードが過熱して火災・感電の原因となります。

電源コードを突っ張った状態で使用しない
火災・感電の原因となります。

移動や収納の際、電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因となります。

キャスターで電源コードを傷つけない
火災や感電・発熱の原因となります。



業務用など家庭用以外の用途には使用しない
本体は家庭での使用に設計されています。それ以外の用途では、火災や機器が異常を起こす原因となります。

本体に衣類やタオルなどをかぶせない

運転中に吹き出し口や吸気口をふさぐと火災、性能低下や故障の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。



改造はしない
修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」にご相談ください。



電源プラグは清潔にする
刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は拭き取る
火災の原因となります。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する他の器具と併用するとコンセント部が発火する原因となります。
また、延長コードは使用しないでください。異常発熱し、発火・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

次のような場所では使用・設置しない

- ・ 温室や浴室、屋外など高温・多湿・雨や水のかかる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 油・ほこり・薬品などがつきやすい場所
- ・ 押し入れや家具のすき間などの狭い場所
- ・ 湯煙や湯気が当たる場所
- ・ 傾いたところや高いところなど、不安定な場所
- ・ 油や可燃性ガスなどを使用したり、漏れるおそれのある場所
- ・ 吹き出し口の風が燃焼器具に直接当たる場所

本体に座ったり、寄りかかったり、上に乗ったりしない

落下や転倒によるケガの原因となります。

美術品や学術資料などの保存・特殊用途に使用しない

保存品の品質劣化の原因となります。

キャスターに糸くずなどが巻きつかないようにする

故障の原因となります。

強い衝撃を与えない

故障して、火災・感電の原因となることがあります。

本体に水をかけたり、水をこぼしたりしない

本体内部に水が入り、故障して火災・感電の原因となることがあります。

風を直接身体に当てない

小さなお子さま、お年寄りや動植物にはご注意ください。
健康を害する原因となります。

吸気口フィルターを外した状態で使用しない

本体内部にほこりがたまり、故障の原因となります。

吹き出し口などの本体に衣類やふとんをかけて使用しない

故障の原因となります。

電源コードを持って本体を移動させない

電源コードが断線し、発熱することがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずコンセントから電源プラグを抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

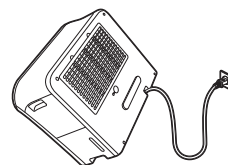
電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずコンセントから電源プラグを抜く

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本体が倒れた場合には、速やかにコンセントから電源プラグを抜く

火災・感電の原因となることがあります。



使用中、ルーバーに触れない

ケガの原因となることがあります。

本体を移動するときは、水タンクの水を捨てる
本体内部に水が入り、故障して火災・感電の原因となることがあります。(P9「排水のしかた」参照)

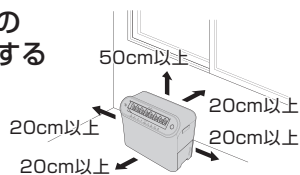
傷がつきやすいところや毛足の長いじゅうたんの上では持ち上げて移動する

床やじゅうたん、畳などを傷つけるおそれがあります。

- 本体に不具合が生じた場合は、速やかに使用を中止してください。
- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことによって生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

知っておいていただきたいこと

カーテンや壁などと本機との間にスペースを空けて設置する
火災・過熱の原因になります。



除湿量について

室内の温度や湿度によっては、除湿することができなったり、除湿量が減るときがあります。

・室温が低いとき

本製品は室温 5℃ から 35℃ の間で、効率よく除湿できるように設計されています。室温が低いときには、吸い込んだ空気と冷却させた空気の温度差が小さく結露しにくいいため、除湿量が減少します。

・室温が高いとき

本体を保護するため、除湿が停止することがあります。その場合は、除湿量が減少します。

・湿度が低いとき

部屋の湿度が低いときには、空気中の水分量が少ないため除湿量が減少します。

・設定湿度に達したとき

目標湿度を設定して運転しているときは、設定した湿度に達すると除湿機能が停止するため除湿量が減少します。

室温が上がります

衣類乾燥や除湿運転をしているときは、吹き出し口から暖かい風が出るため、閉め切った部屋で長時間運転すると室温が上がります。

運転モードの記憶

本体を運転した後で、コンセントに電源プラグを差し込んだまま、 (電源スイッチ) を切り、再び電源を入れると前回運転したときのモードで運転します。ただし、タイマーは記憶できません。

水タンク満水時の自動運転停止

水タンクがいっぱいになると、 ランプが点灯し、自動的に運転を停止します。

自動除霜機能

冬などに気温が低くなると、本体内に霜が発生する場合があります。その場合は  (霜ランプ) が点灯し、自動的に除霜を開始します。除霜の間は通常の運転ではなく、除霜が最優先となります。

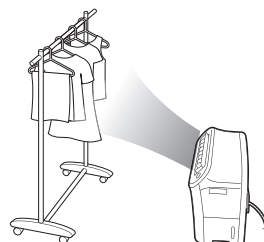
高温時にファンの回転数が切り換わります

室内が高温な状態で、風速 1 で除湿運転をしているときは、本体への負担を防ぐために自動的に風速を強く切り換えます。室内温度が低くなると元の風速に戻ります。

上手な使いかた

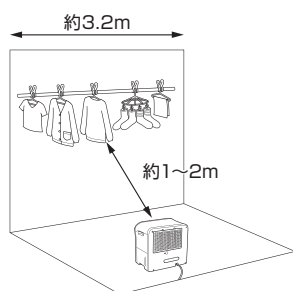
衣類を乾燥させるとき

センサーが洗たく物を検知し、風向きや風量を自動的に調整します。下記のように洗たく物を干すと効率よく乾燥させることができます。



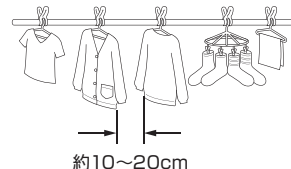
● センサーの検知範囲内に干す

本体から 1～2 m 離れた場所に洗たく物を干してください。それより近かったり遠いと、センサーは洗たく物を検知できない場合があります。



● 洗たく物の間隔を調節する

本体からの風が洗たく物の奥まで通るように、約 10cm 以上は間隔を空けて干してください。洗たく物が風で動いてしまうような場合は、固定してください。洗たく物を重ねて干すと、乾燥に時間が掛かる場合があります。



● 室温が 20℃ 以下で低いときは暖房機などで部屋を暖める

● 窓が冷たいときはカーテンを閉める (誤検知を防ぐのに効果的です。)

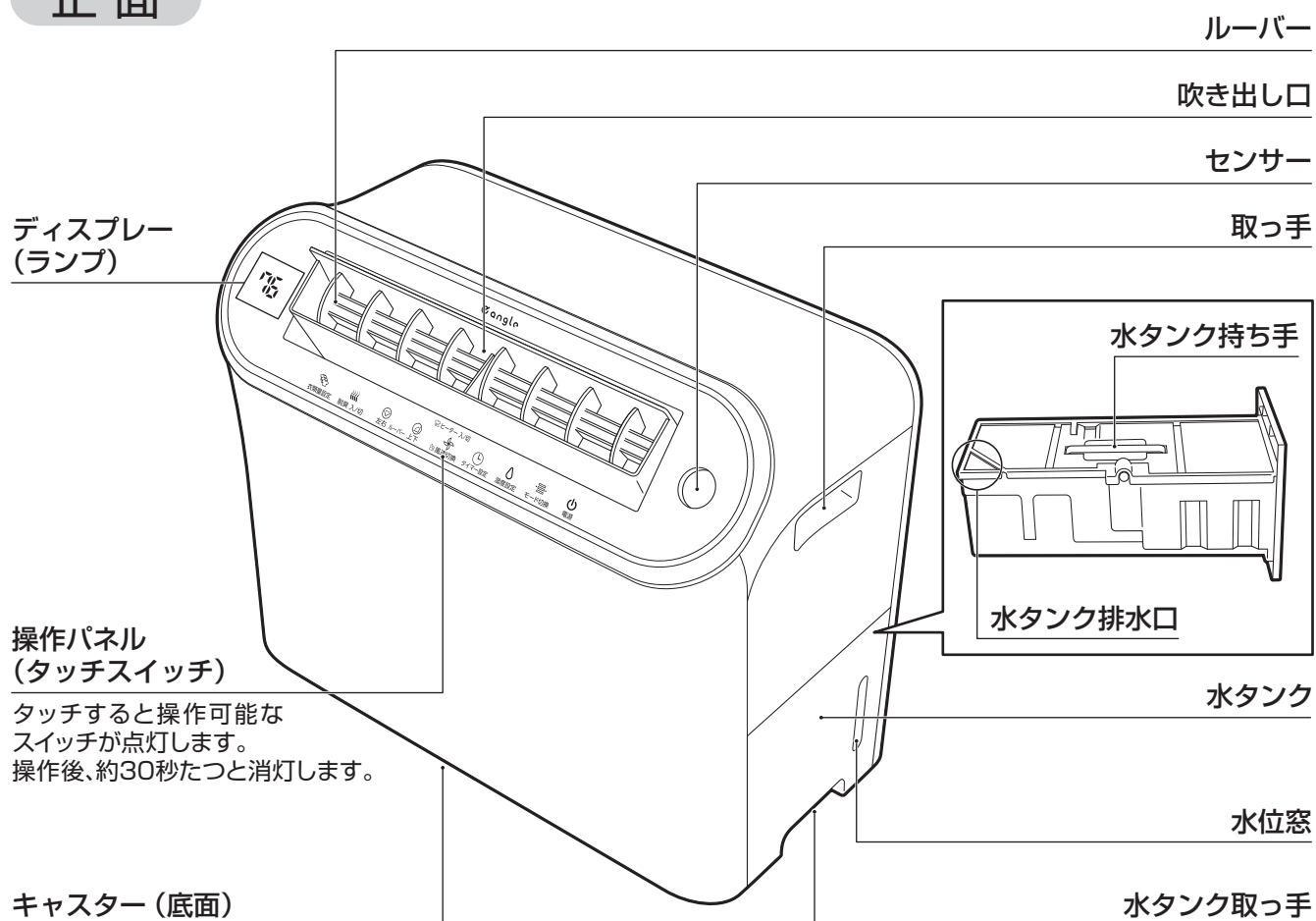
● なるべく小さな部屋を閉め切って使用する

室内を除湿するとき

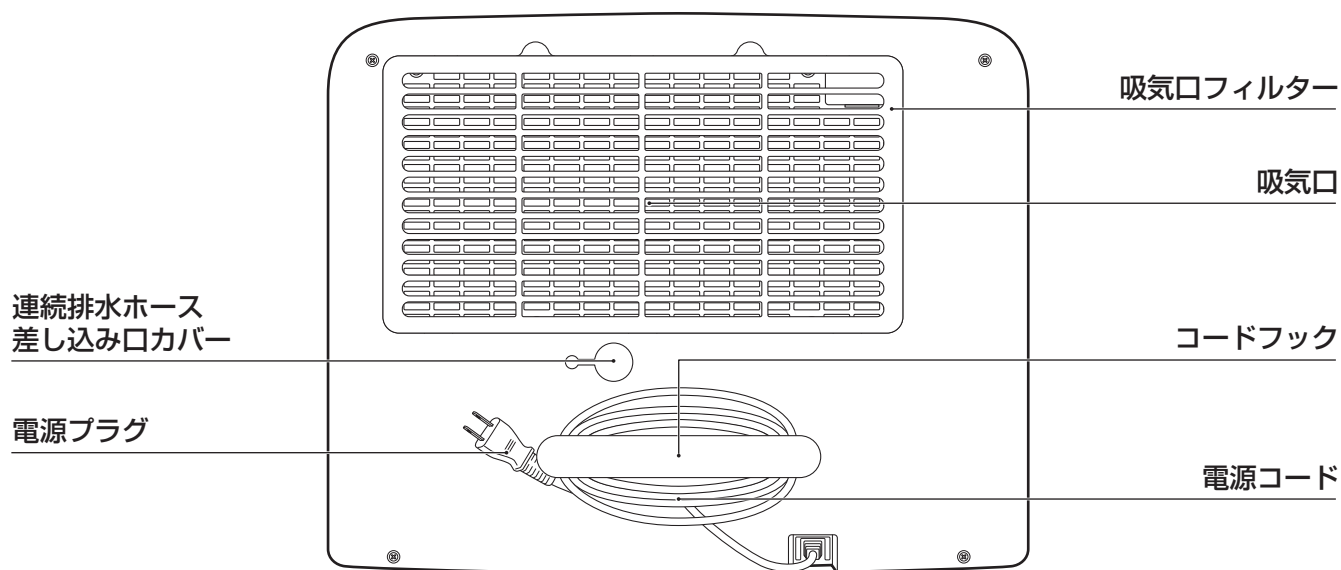
 (ルーバー上下スイッチ) と  (ルーバー左右スイッチ) を使って、部屋全体の空気を循環させることができます。

各部のなまえ

正面



背面



操作パネル

※スイッチにタッチすると音でお知らせします。

ルーバー上下スイッチ (除湿モードのみ)

ルーバーを上下に動かすことができます。

ルーバー左右スイッチ (除湿モードのみ)

ルーバーを左右に動かすことができます。

脱臭入/切スイッチ

脱臭機能を入/切できます。

衣類量設定スイッチ (衣類乾燥モードのみ)

乾燥させる衣類の量に合わせて3段階調節することができます。(P8参照)

ヒーター入/切スイッチ (衣類乾燥モードのみ)

ヒーターを入/切できます。(【:切 H:入)

風速切換スイッチ (除湿モードのみ)

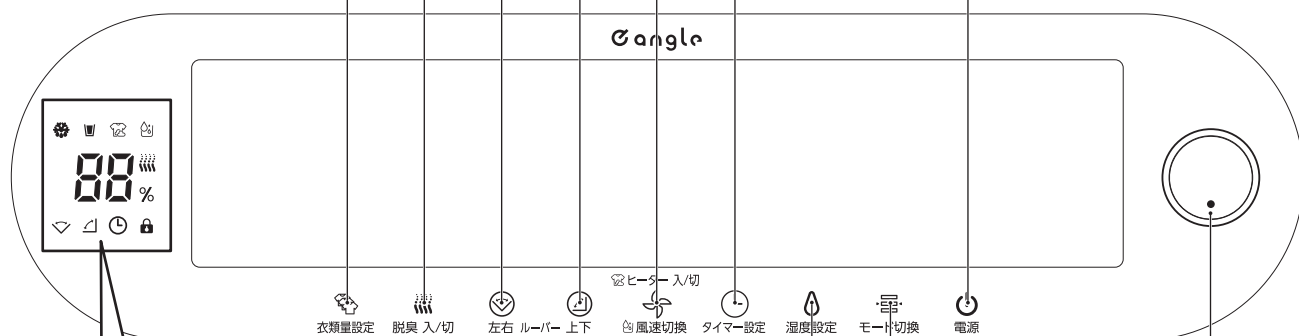
風速を切り換えることができます。(1:遅い 2:速い)

タイマー設定スイッチ

電源を切るタイマーを作動したり、その時間を設定したりすることができます。(除湿モードのみ・P7参照) また、すべてのスイッチを効かなくするチャイルドロック機能を作動することもできます。(P8参照)

電源スイッチ

タッチすると電源が入り、運転を開始します。運転時にタッチすると、電源が切れます。



ディスプレイ (ランプ)

88% 除湿モード時は室内の相対湿度を表示します。室内の湿度が30%以下になると、ディスプレイに「LO」と表示します。90%以上になると「Hi」と表示します。衣類乾燥モード時はヒーターの状態を初期表示します。



除霜するときに、点灯します。



水タンクがいっぱいになると、点灯します。



衣類乾燥モードのときに、点灯します。



除湿モードのときに、点灯します。



脱臭機能が作動するときに、点灯します。



チャイルドロック機能が作動するときに、点灯します。



電源を切るタイマーが作動するときに、点灯します。



ルーバーを上下に動かすときに、点灯します。



ルーバーを左右に動かすときに、点灯します。

センサー

衣類を検知し風向きを調整します。

モード切換スイッチ

タッチするたびに運転のモードを切り換えます。衣類乾燥モード(【)と除湿モード(【)があります。

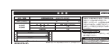
湿度設定スイッチ (除湿モードのみ)

除湿設定を変更することができます。(P7参照)

付属品

• 取扱説明書(本書)

• 保証書



使いかた

⚠ 注意

- 水タンクが本体にきちんとセットされていることを確認してください。水タンクがきちんとセットされていないと、 ランプが点灯して、運転することができません。

1. 電源コンセントに電源プラグを差し込む

- 音が鳴ります。

2. (電源スイッチ)をタッチする

- 閉じていた吹き出し口が開き、運転が始まります。
- 電源プラグを抜かないままにしておくと、前回運転したときのモードで運転します。ただし、タイマーは記憶できません。
- 電源スイッチを入れてから約3分以内に圧縮機が動いて除湿を始めます。除湿を始めると運転音が大きくなります。

3. (モード切替スイッチ)をタッチして、運転モードを選ぶ

-  (モード切替スイッチ)をタッチするたびに、衣類乾燥モード()と除湿モード()が切り換わります。

4. (電源スイッチ)をタッチし、運転を停止する

- ディスプレーに **88** を点滅表示し約3分間送風運転をした後、自動的に吹き出し口が閉じ、電源が切れます。

室内を除湿する

・  (モード切替スイッチ)をタッチして、除湿モード()にすると、室内を除湿します。

△ (湿度設定スイッチ)で目標湿度が設定されているときは、現在の室内の湿度を検知して自動的に運転します。目標湿度に達すると、除湿をやめて送風運転になります。
※ヒーターを入にすることはできません。

● 目標湿度を設定する

- △ (湿度設定スイッチ)が点灯しているときに、△ (湿度設定スイッチ)をタッチすると、目標湿度を設定できます。

△ (湿度設定スイッチ)をタッチするたびに、目標湿度は下記のように切り替わります。

→ **△** (連続) → **40%** → **50%** → **60%** → **70%** →

- 室内の湿度が、目標湿度よりも高ければ除湿運転を開始し、低くなると除湿運転を停止します。
- **△** (連続)にすると、室内の湿度に関係なく除湿運転を続けます。

● 風速を切り換える

-  (風速切替スイッチ)をタッチすると、風速を切り換えることができます。
(1:遅い 2:速い)

● ルーバーを動かす

-  (ルーバー上下スイッチ)をタッチすると、ルーバーを上下に動かすことができます。
 ランプが点灯します。
ランプが点灯しているときに  (ルーバー上下スイッチ)をタッチすると、ルーバーは停止します。
-  (ルーバー左右スイッチ)をタッチすると、ルーバーを左右に動かすことができます。
 ランプが点灯します。
ランプが点灯しているときに  (ルーバー左右スイッチ)をタッチすると、ルーバーは停止します。

● タイマーを設定する

- 電源を切るタイマーを作動することができます。
-  (タイマー設定スイッチ)をタッチすると  ランプが点灯しタイマーが作動します。
-  (タイマー設定スイッチ)をタッチするたびに、タイマー設定時間は下記のように切り替わります。
1h → **2h** → **3h** → **4h** → **5h** → **6h** → **7h** → **8h** → **9h**
- 設定時間が経過すると、ディスプレイに **88** を点滅表示し約3分間送風運転をした後、自動的に吹き出し口が閉じ、電源が切れます。

衣類を乾燥する

•  (モード切換スイッチ) をタッチして、衣類乾燥モード() にすると、センサーが衣類を検知します。
※乾燥時間は、衣類量、部屋の温度・湿度によって異なります。

- センサーが動作しているときは、ディスプレイに  または  を点滅します。湿度表示の点灯に変わると衣類乾燥を始めます。
※衣類の検知には約3～6分かかります。

- 乾燥が終了するとディスプレイに **88** を点滅表示し約3分間送風運転をした後、自動的に吹き出し口が閉じます。
 (電源スイッチ) をタッチして、電源を切ってください。

-  (ルーバー左右スイッチ) /  (ルーバー上下スイッチ) /  (風速切換スイッチ) は使うことができません。

● 衣類量を調節する

-  (衣類量設定スイッチ) をタッチすると、衣類量を切り換えることができます。

→  (約10枚) →  (約20枚) →  (約30枚) →

- 最大乾燥時間は、目安として衣類量  のとき約2時間、 のとき約3時間、 のとき約4時間です。

● ヒーターを入／切する

-  (ヒーター入／切スイッチ) をタッチすると、ヒーターを入／切できます。( : 切  : 入)

脱臭する

-  (脱臭入／切スイッチ) をタッチすると、脱臭機能を入(ランプ点灯)／切(ランプ消灯)できます。

チャイルドロックを設定する

-  (電源スイッチ) を含め、すべてのスイッチを効かなくすることができます。

設定するとき

- 運転中に  (タイマー設定スイッチ) を3秒以上タッチします。
 ランプが点灯し、すべてのスイッチが効かなくなります。

解除するとき

-  ランプが点灯しているときに、 (タイマー設定スイッチ) を3秒以上タッチすると、 ランプが消灯し、チャイルドロック機能は解除されます。
また、電源プラグをコンセントから抜くと、チャイルドロック機能は解除されます。

衣類検知について

- 初期検知後も5分間の運転後、センサーによる衣類検知を行います。
その後も10分間の運転ごとに2度、それ以降は20分間の運転ごとに衣類検知を行い、送風の適正化を継続して行います。
(ディスプレイは湿度表示を示したままです。)
- センサー検知後は通常のセンサーモードで動作し、センサーによる終了判定を行います。強制運転時は最大乾燥時間までに終了します。
乾燥状態に応じて除湿運転で乾燥させてください。

※検知センサーについて

センサーは衣類とその周辺温度で対象物を判断します。次のような場合はセンサーが検知せずに強制運転(ルーバーが広範囲にスイング)します。

- 本体と衣類の距離が近すぎたり遠すぎたりするとき。
- 室温が洗たく物温度より低い、同じくらいのとき。
- センサー部に汚れやセンサー方向に遮蔽物があるとき。

排水のしかた

水タンク

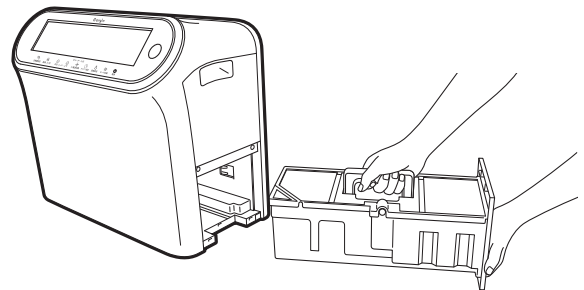
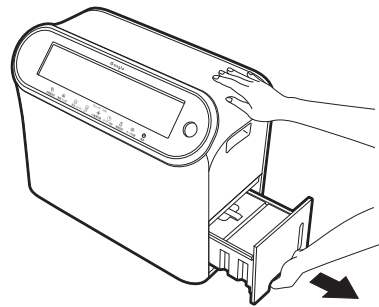
水タンクが満水になると、ランプが点灯し、自動的に送風運転に切り替わり、約3分後に停止します。
水タンクを取り出して排水してください。

1. 水タンクを本体からゆっくり取り出す

- 水タンク下側の取っ手に手をかけ、水をこぼさないように、水平を保ちながらゆっくりと引き出してください。
本体から抜いた水タンクは、両手で水平に持ってください。

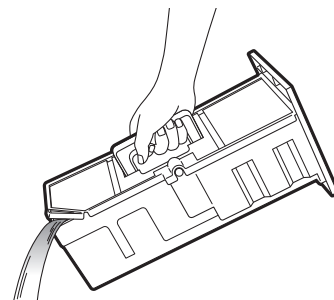
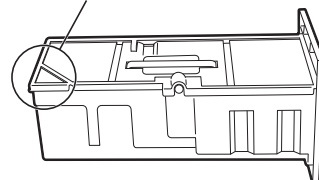
⚠ 注意

- 本体の中に残っている水が落ちてくる場合があるので、運転が停止した直後には水タンクを取り出さないでください。



2. 水タンク排水口をあけ、水を捨てる

水タンク排水口



3. 水タンクを本体にセットする

- 水タンクを正しくセットしないと、ランプが点灯したままになり、運転することができません。
- 水タンクにヒビが入ったり割れたりしていないか確認してください。

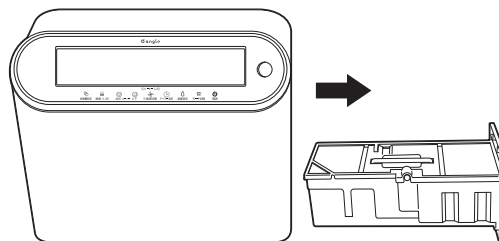
連続排水

※必ず本体の電源を切ってから行ってください。

市販のホースを本体に接続して排水すると、連続運転ができるようになります。

- 内径12mmで、必要な長さのホースを用意してください。

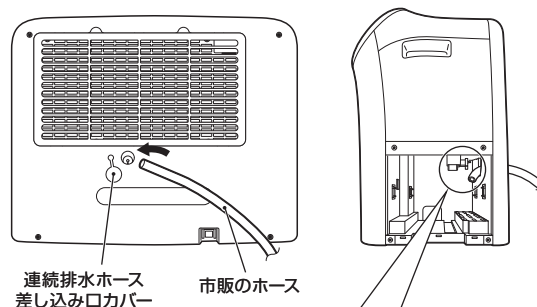
1. 水タンクを本体からゆっくり取り出す (P9参照)



2. 本体背面の連続排水ホース差し込み口 カバーを開き、ホースを差し込む

背面

側面

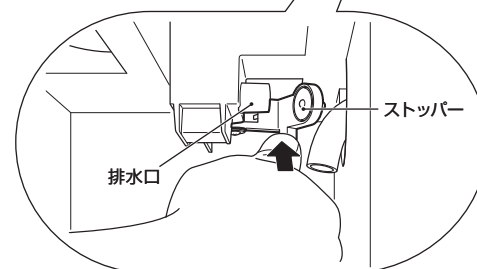


3. 本体の排水口を開く

- 水タンクを引き出したところから手を入れ、本体の排水口のストッパーを奥に押して、排水口を開いてください。

4. 本体の排水口にホースを接続する

- ストッパーを押したまま、排水口にホースをしっかりと接続してください。



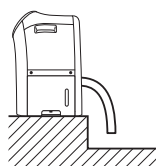
5. 水タンクを本体にセットする(P9参照)

6. ホースのもう一方の先を、排水する場所に設置する

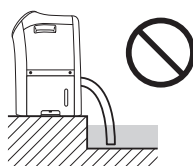
⚠ 注意

排水ホースの周囲が氷点下にならない場所に設置してください。
ホース内部の水が凍結すると、本体内部の水がこぼれて家財などをぬらす原因となります。

正しい設置例



間違った設置例



ホースの先が水につかっている



ホースの一部分が、排水口よりも高い



ホースが段差を乗り越えている

お手入れのしかた

⚠ 注意

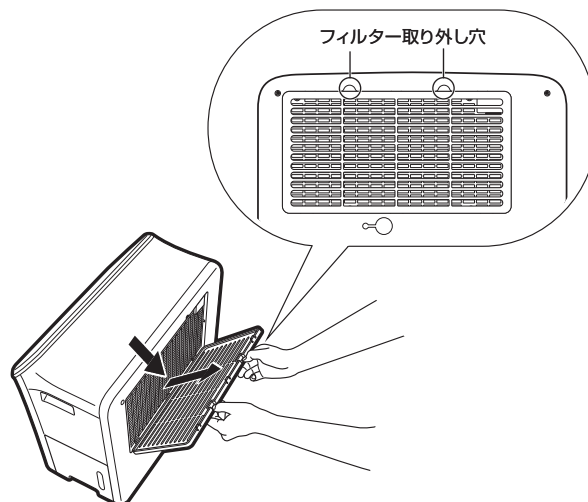
- お手入れをするときは、本体の電源を切りコンセントから電源プラグを抜いてください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

吸気口フィルターのお手入れ

2週間に1回ほど

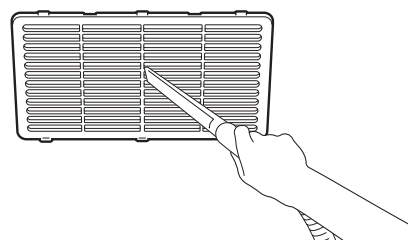
1. 吸気口フィルターを取り外す

- 本体背面のフィルター取り外し穴に指をかけて、フィルターを取り外してください。

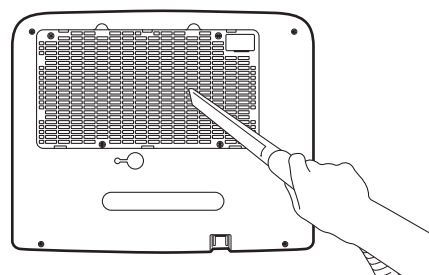


2. 掃除機を使い、吸気口フィルターに付いたほこりを吸い取る

- フィルターが破損する原因となるので、強くこすったり押したりしないでください。
- 汚れがひどいときは水洗いしてください。洗った後はよく乾かしてください。



3. 吸気口フィルターを取り外した本体背面のほこりを吸い取る



4. 吸気口フィルターを取り付ける

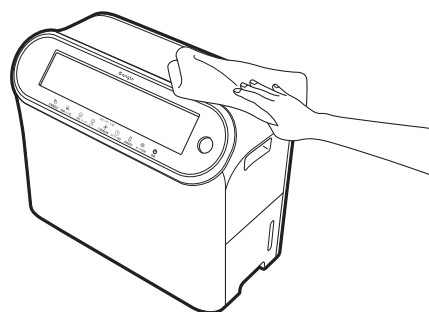
本体のお手入れ

2週間に1回ほど

水またはぬるま湯(40℃以下)を含んだ柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

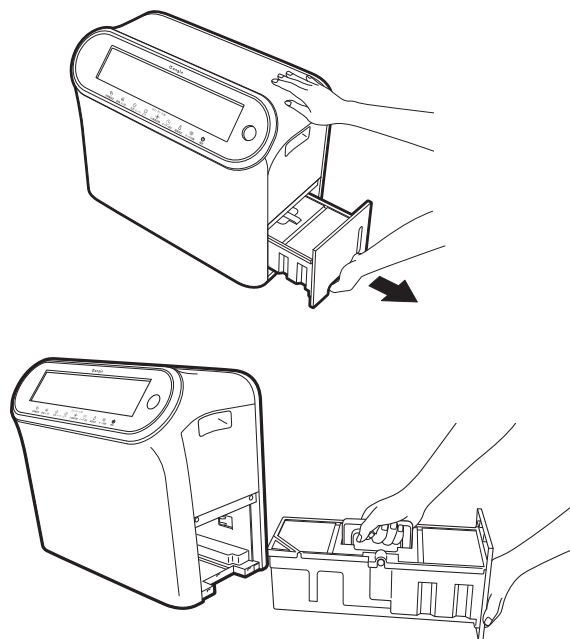
- 汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯をお使いください。

汚れを落とした後は、水またはぬるま湯を含んだ柔らかい布で、洗剤を拭き取ってください。



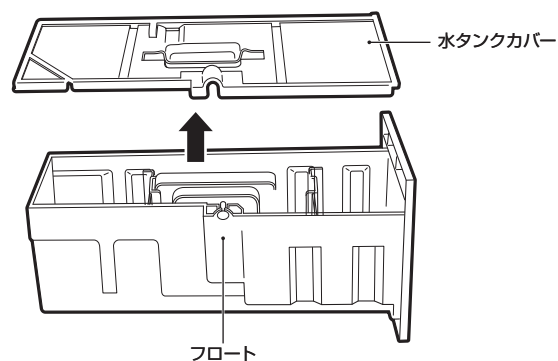
水タンクのお手入れ 1か月に1回ほど

- 1.** 水タンクを本体からゆっくり取り出す
(P9参照)



- 2.** 水タンクカバーを外す

- フロートは取り外さないでください。
外すと満水を検知できなくなり、水漏れの原因となります。



- 3.** 水タンクと水タンクカバーを水洗いする

- 洗った後は、水気を拭き取って乾いた状態にしてください。

- 4.** 水タンクカバーを取り付ける

- すき間ができないようにしっかりと取り付けてください。

- 5.** 水タンクを本体にセットする(P9参照)

保管のしかた・廃棄について

保管のしかた

長期間使用しない場合は、下記の手順で保管してください。

1. 運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く
2. 排水する
(P9～10「排水のしかた」参照)
 - 本体の中に残っている水が落ちてくる場合があるので、運転が停止した直後には水タンクを取り出さないでください。
 - 連続排水ホースを接続している場合は、排水が室内にこぼれないように気をつけてホースを外してください。
 - 本体の内部を乾かすために、濡れている箇所があれば柔らかい布で拭き取り、本体をじゅうぶん乾かしてください。
3. 吸気口フィルター、水タンクや本体をお手入れする
(P11～12「お手入れのしかた」参照)
4. 本体やすべての部品がじゅうぶん乾いたことを確認し、ほこりが入らないように梱包箱に入れるか、ビニールなどの袋をかぶせる
5. 直射日光が当たらず、湿気の少ない場所に保管する
 - 横に倒さないでください。
 - 保管後に再度ご使用になるときは、湿気やほこりなどの状態を確認してからご使用ください。

廃棄について

- 梱包材などを廃棄するときは、お住まいの地域の自治体へお問い合わせください。



- 本体にはフロン類の冷媒が使用されています。そのため本体を廃棄する場合には、地球への影響に配慮して適切に処理する必要があります。お住まいの地域の自治体へお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じ「故障かな？」と思われる場合は、修理を依頼される前に下記の内容ではないかを確認してください。

症 状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない	コンセントに電源プラグはしっかりと差し込まれていますか？	コンセントに電源プラグをしっかりと差し込んでください。
運転しない ( ランプが点灯している)	水タンクが満水状態になっていませんか？	水タンクを取り出して排水してください。(P9 参照)
	水タンクは正しくセットされていますか？	水タンクを本体に正しくセットしてください。(P9 参照)
運転しない ( ランプが点灯している)	自動除霜機能が作動しています。	ランプが消えるまで、電源プラグを抜かずにお待ちください。故障ではありません。(P4 参照)
除湿しない ( ランプが点灯している)	自動除霜機能が作動しています。	自動除霜機能が作動しています。(P4 参照) 故障ではありません。
除湿量が少ない	湿度が低くなっていませんか？	湿度が低いと、除湿量は少なくなります。故障ではありません。
	室温が高くなっていませんか？	室温が高いと、本体を保護するために除湿が停止する場合があります。故障ではありません。
	室温が低くなっていませんか？	室温が低いと、本体を保護するために除湿が停止することがあります。故障ではありません。
湿度が下がらない	部屋が広すぎる。	適切な広さの部屋で使用してください。(P17「仕様」参照)
	窓やドアの開閉が多かったり、開いたままになっていたりしませんか？	できるだけ閉め切った部屋で利用してください。窓やドアの開閉を少なくしてください。
	同じ室内で、石油ストーブや水蒸気の出る家電製品を使用していないですか？	石油ストーブや水蒸気の出る家電製品のご使用は、できるだけ控えてください。
ファンの回転数が切り換わった (風速1で除湿運転をしている)	室温が高くなっていませんか？	本体を保護するために自動的に風速を強く切り換えます。故障ではありません。(室内温度が低くなると元の風速に戻ります。)
運転中、室温が上がる	衣類乾燥除湿機を閉め切った部屋で運転すると、室温が上昇します。	除湿のしかたによるものです。

故障かな？と思ったら(つづき)

症 状	チェックポイント	処置のしかた
除湿運転時にヒーターを入にすることができない	除湿運転時はヒーターを入にすることはできません。	衣類乾燥モードでヒーターを入にしてご使用ください。
衣類乾燥モードで使用しているときにルーバーが真上または真横に向いていることがある	衣類検知を行っている際や衣類の乾燥状態により、真上または真横に送風を行います。	適正な送風のため、センサーによる衣類検知を行っており故障ではありません。
運転中に振動する	不安定な場所に設置していませんか？	水平で安定した場所に設置してください。
室内に水がこぼれる	本体が傾いていませんか？	水平で安定した場所に設置してください。
	水タンクに水を入れたまま移動していませんか？	本体を移動するときは、水タンクの水を捨ててください。(P9参照)
	運転が停止した直後に水タンクを取り出していないですか？	運転が停止した直後には、水タンクを取り出さないでください。本体の中に残っている水が落ちてくる場合があります。
	水タンクカバーが正しく取り付けられていますか？	水タンクカバーは、すき間ができないようにしっかりと取り付けてください。
	連続排水時、ホースが外れていませんか？	排水口にホースをしっかりと接続してください。
洗たく物が乾燥しない (乾燥にムラがある)	本体からの風が洗たく物の奥まで通るように干していますか？	洗たく物の間隔を調節してください。(P4参照)
	衣類量の設定はあっていますか？	衣類量(枚数)を正しく設定してください。(P8参照)
	衣類の材質(保水力)によるムラです。	保水力の高い衣類は中心部分に移動してください。
強制運転(ルーバーが広範囲にスイング)する	本体と衣類の距離が近すぎたり遠すぎたりしていませんか？	センサーの検知範囲内に干してください。(P4参照)
	室温が洗たく物温度より低いか同じくらいではありませんか？	暖かい部屋でご使用ください。
	センサー部に汚れやセンサー方向に遮蔽物はありませんか？	汚れや遮蔽物を取り除いてください。
ディスプレイに「Hi」が表示される	寒い部屋から暖かい部屋に移動しましたか？	センサーの結露です。部屋の温度に馴染むと湿度表示に変わります。

- 上記の処置を行っても解決できないときは、お買い上げの販売店か、本書の裏表紙(P19)に記載の「エディオンサービスセンター」にお問い合わせください。

⚠ 警告



修理技術者以外の方は、分解や修理をしないでください。

こんな表示が出たら

安全機能が働いた場合や異常があった場合、ディスプレイにエラーコードを表示します。

表 示	処置のしかた	
E1	電子部品の故障です。	速やかにコンセントから電源プラグを抜いて お買い上げの販売店にお問い合わせください。
E3		
E8		
E2	電子部品の故障です。	室温を確認いただき、適切な温度の部屋で ご使用ください。
	室温が0℃以下または40℃ 以上の場合に表示されることがあります。	

仕様

定格電圧		AC100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
電動機の定格消費電力※ ¹		275W	340W
電熱装置消費電力※ ¹		650W	
定格除湿能力※ ²		14L / 日	16L / 日
除湿面積の目安※ ³	一戸建住宅(木造)和室	29㎡(18畳)	33㎡(20畳)
	一戸建住宅(プレハブ)洋室	44㎡(27畳)	51㎡(31畳)
	集合住宅(コンクリート、 軽量コンクリート造り)洋室	58㎡(35畳)	67㎡(40畳)
水タンク容量		約4Lで自動停止	
寸法(電源コードを除く)		約 幅526mm×奥行310mm×高さ454mm	
質量		約16.4kg	
電源コードの長さ		約1.9m	

※¹ 室温30℃のときの電気用品安全法に基づく数値です。

※² 室温27℃、湿度60%を維持し続けたときの、1日(24時間)あたりの除湿量です。

※³ JEMA((一社)日本電機工業会)規格に基づいた数値です。

■ 修理サービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店による「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から1年間です。（ただし、冷媒回路については3年間です。）

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 衣類乾燥除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、本書の裏表紙（P19）に記載の「修理窓口」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の衣類乾燥除湿機の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか	●電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深い傷や変形がある。 ●コゲくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	 ご使用中止 このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取扱い・修理に関してはお買上げの販売店へご相談ください

※お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は各窓口へお問い合わせください

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。

ご質問の内容によりましては適切な回答のためにエディオングループ各社ならびに関係会社に情報を提供することがございます。

ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

※エディオングループ個人情報保護方針：<https://www.edion.co.jp/privacy/>

ご相談窓口 ～商品に関するお問い合わせ～

■エディオンお客さま相談センター



0570-07-0557 (有料)

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～18:30（土日祝・年末年始除く）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2丁目3番33号 大阪三井物産ビル

- お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
- 所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2018.10時点)

修理窓口 ～修理に関するお問い合わせ～

■エディオンサービスセンター



0570-06-0119 (有料)

受付時間：月曜日～日曜日 9:00～20:00（年中無休）

※年末年始に関しては受付時間の変更される場合があります。

- お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
- 電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2018.10時点)